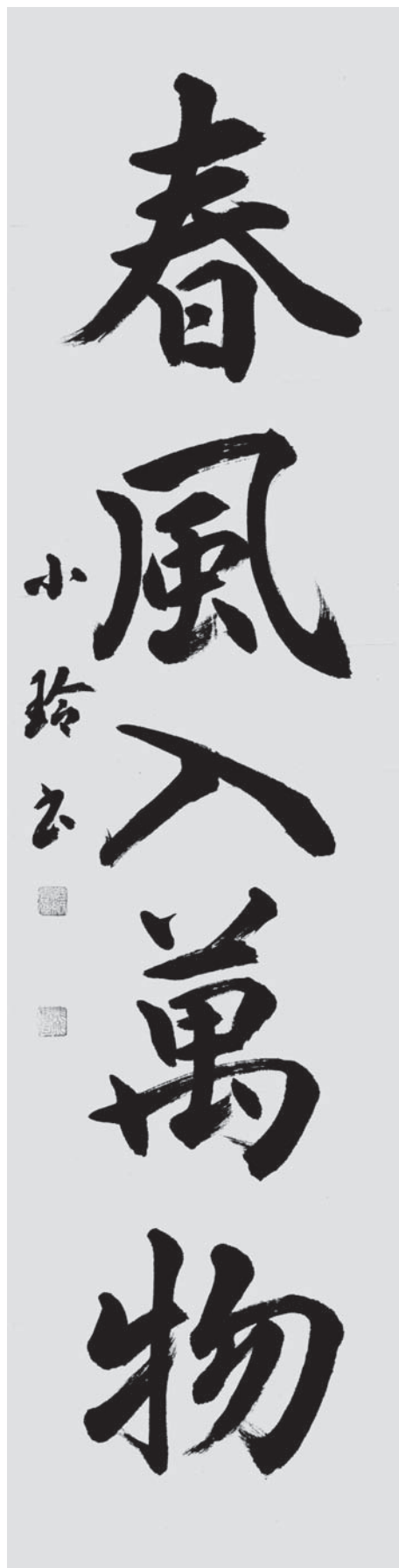


半切四分の一に書く(3)

締切り 三月二十五日(必着)



神谷葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のことです、その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×一七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕春風入萬物

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤渇も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て、表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べることが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×一七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フエルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんので、どなたでも出品できます。ただし出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位は発表はしません。

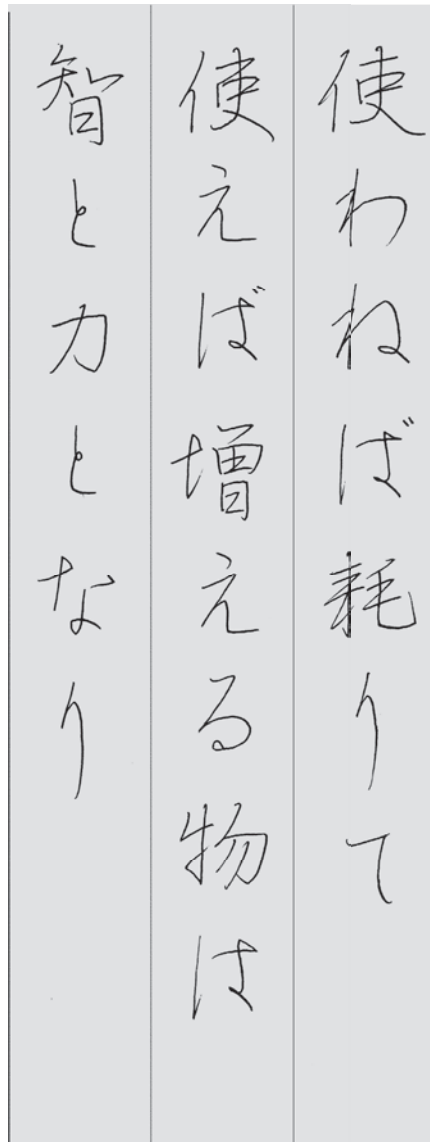
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



◎行書は動的な形で、ペンの運びは力まず、自然に流れるように書くといよい。
 ▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

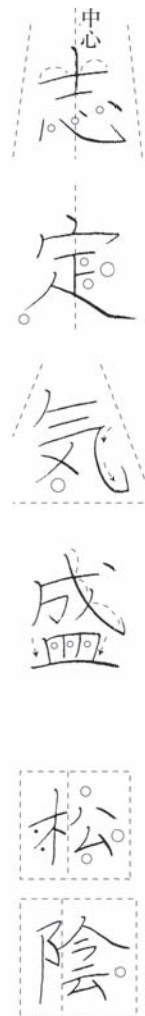


おか だ りゅう ほう 書
 岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
 大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

- ◆4月課題予告（楷書）
 知識は
 私たちが天に
 飛翔する翼である
- ▼教範・書範Ⅱ行草または草書
- ▼師範Ⅱ行書

★使わねば…（書体Ⅱ行書）
 海保青陵（一七五〇～一八二七）
 江戸後期の儒学者・経世家
 禅問答のような機智に富んだ答えです
 が、確かに知恵も体力も使わないでいる
 と、あつという間に劣えてしまいます。出
 し惜しみすることなくどんどん使えば、よ
 りよいアイデアが生まれ、力もより増強し
 ていくものなのです。

◆4月課題予告（行書）
 我々は裸で生まれ
 裸で死んで行く
 イソップ

★志…（書体Ⅱ楷書）
 吉田松陰（一八〇〇～一八六〇）
 幕末の志士・思想家、教育者
 安倍晋三総理大臣が、今年四月からの消
 費税引き上げの表明演説の際に冒頭で引用
 した言葉で、未来への投資と題し、社会保
 障の充実を謳いました。
 一旦決心がつけば、意気が高まり、どの
 ようなことに立ち向かって実現するのだ
 と、強い意志を示しています。

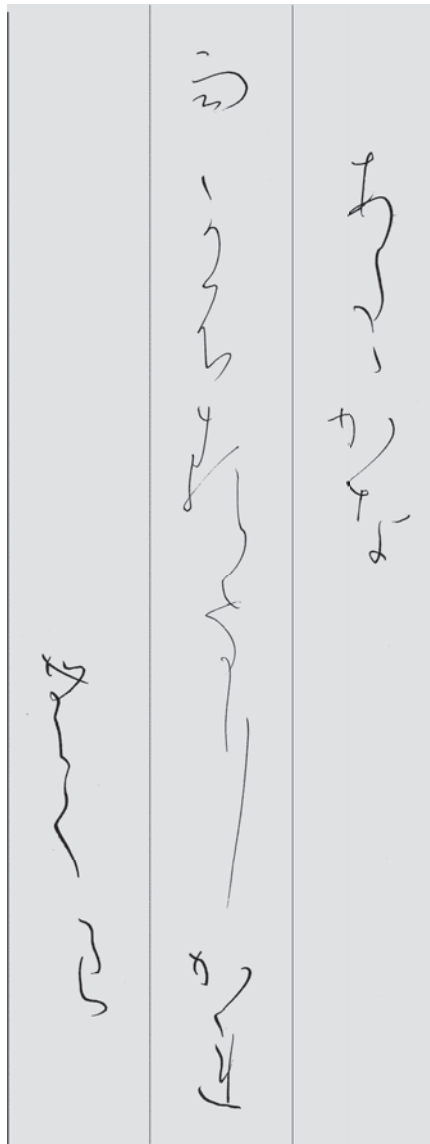
一般部かな課題

締切り 3月25日(必着)

準初段から六段まで

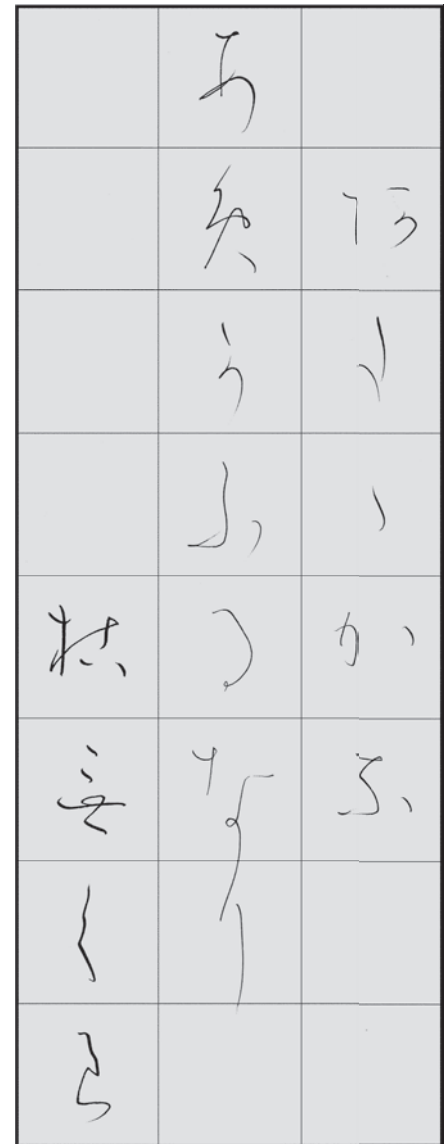
新入から1級まで

あ^多たゝかな雨^可が^不ふる^類なり^奈枯^か律^{連無く良}



あ^{阿多}たゝかな雨^{奈あ免可}が^{無く良}ふるなり枯^{無く良}律

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



おお みや しゅん ちょう
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

おお みや しゅん ちょう
大 宮 春 兆 書

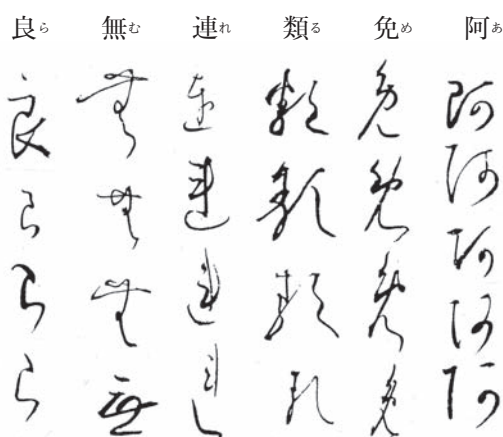
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆4月課題予告

花^{はな}衣^{ころも}ぬぐやまつはる紐^{ひも}いろく^{いろ}

(杉田久女)



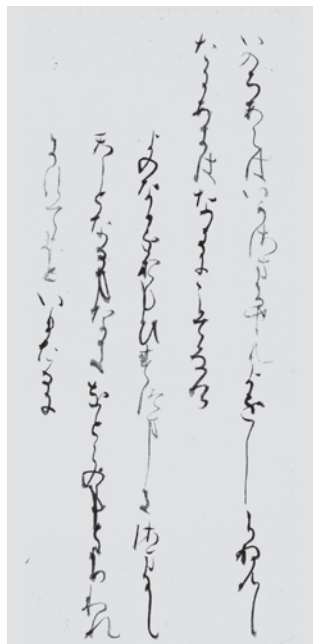
〔古筆参考〕

あ^{かれむくら}たゝかな雨^{まさおかしき}が^{まさおかしき}ふるなり枯^{まさおかしき}律^{まさおかしき}

〔句意〕荒れた空き地や庭には、枯れ果てたままのつる草がもの寂しい景を呈している。まだ下^も萌えのわずかな青ささえも見られない中で、雨はさすがに春らしく、やわらかに枯律に降り注いで、あたたかな感じを漂わせていることである。

〔古筆参考〕

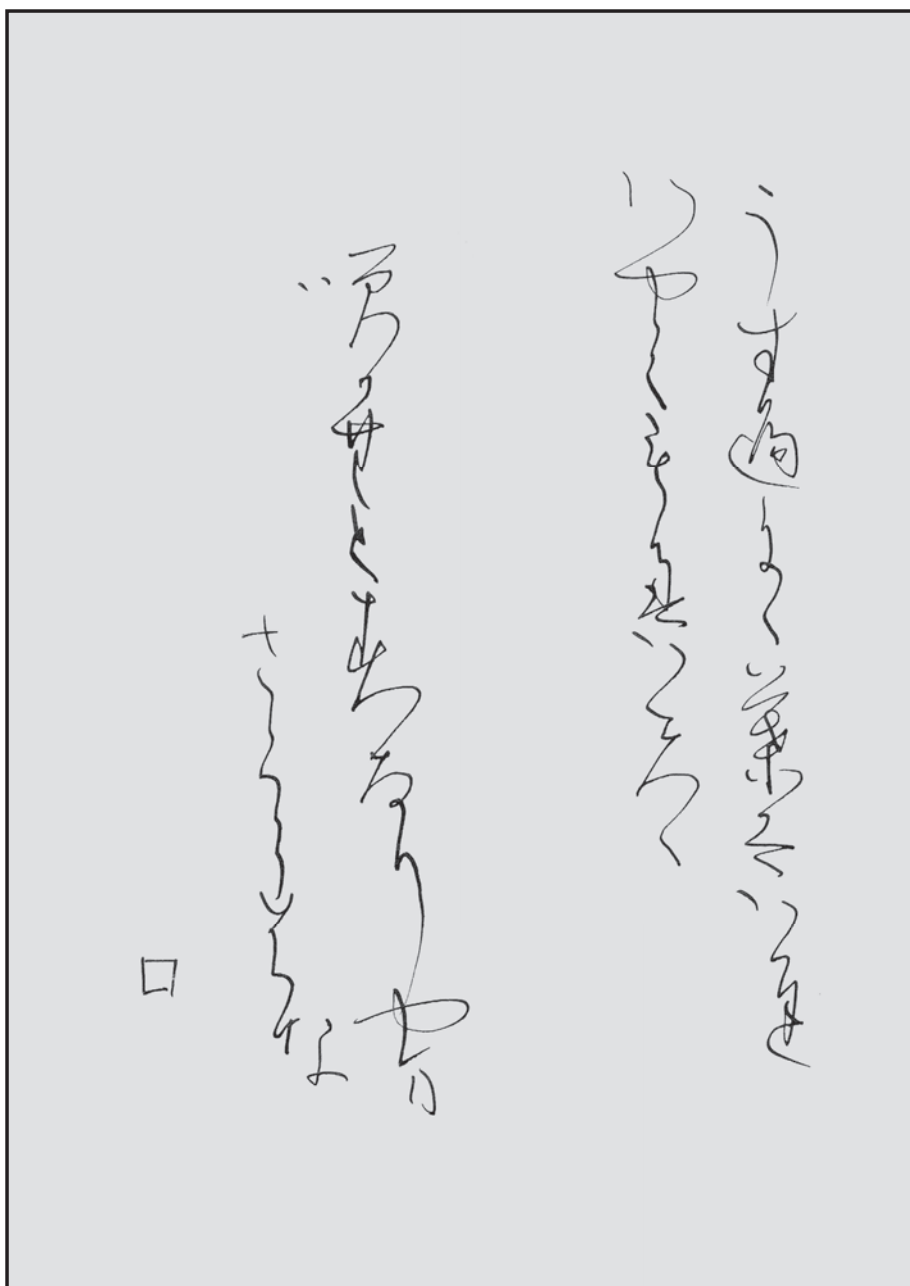
いずみしきぶぞくしゅうぎれ
和泉式部続集切



いのちあらばいかさまにせんよをしらぬむし
だにあきはなきにこそなけ
よのなかをおもひすつまじきさまにし
てことなる事なきをとこのもとよりわれ
にすてよといひたるに

締切り 三月二十五日（必着）

築瀬舟香書

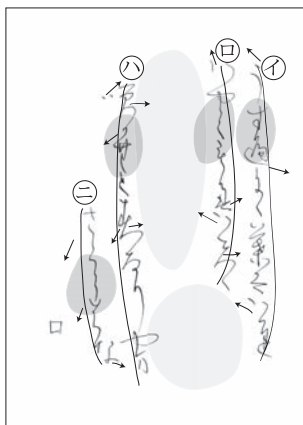


うすべにに葉はいちはやく萌えいてて
咲かむとすなり山ざくら花

〔歌意〕花にさきがけて、うす紅色に
葉が早くも萌え出して、花は今まさに
咲こうとしている。この山桜の花よ。

〔出典〕名歌即訳 若山牧水

〔解説〕



- ・①と△、①と②、③と△、③と②、
それぞれ呼応。
- ・● 行の中の密の動き大切。
- ・↙ 指向性に注意。
- ・○ 大きな間大切。
- ・文字の終わりにから次の文字に来る時
の意連大切。

◆4月課題予告

水の音に似て啼く鳥よ山ざくら
松にまじれる深山の屋を

締切り 3月25日(必着)

来月より、十七年ぶりに消費税が
上がりますね。昨年から食料品等
じわじわ値上がりし、食べ盛りの
子を持つ我が家にとっては、実に
頭の痛い話です。お互いに財布の
紐を締めてかゝらないとね。

来月より、十七年ぶりに消費税が
上がりますね。昨年から食料品等
じわじわ値上がりし、食べ盛りの
子を持つ我が家にとっては、実に
頭の痛い話です。お互いに財布の
紐を締めてかゝらないとね。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

2月末から3月の初めにかけて
吹く南風を「春一番」という。

島根県出雲市 氏 名

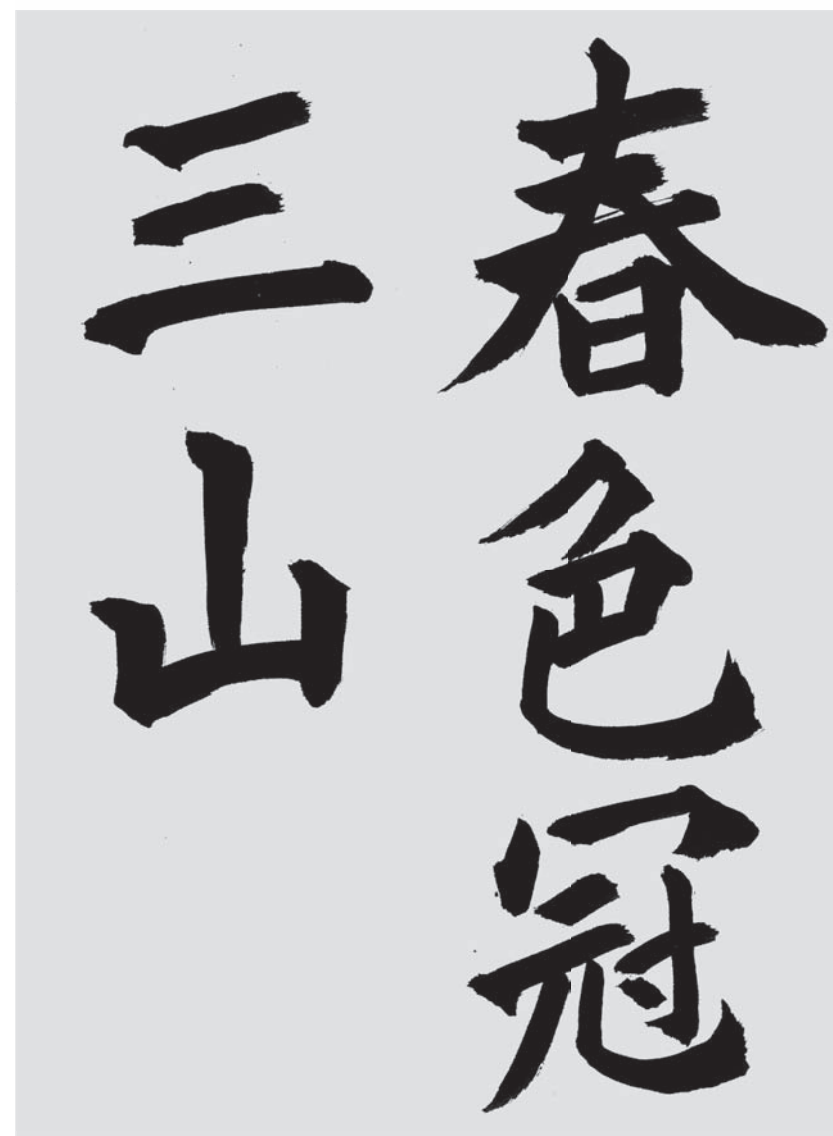
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 3月25日(必着)

新入から1級まで(楷書)

荻田蒼仙書

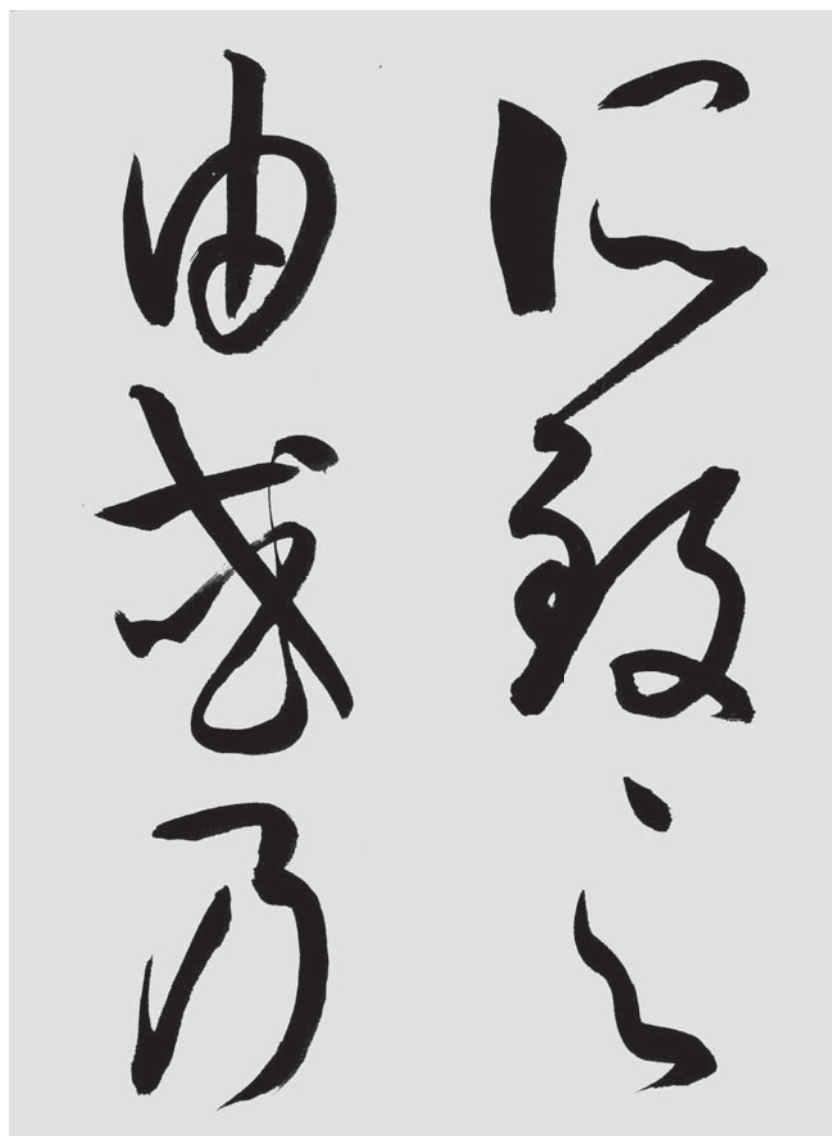


〔読み〕^{しゅんしよくさんざんにかんたり} 春色冠三山

〔大意〕春のよい景色は三神山が第一等である。

準初段から師範まで

奥村暢之臨



〔出典〕書譜(687)〔筆者〕孫過庭(648?~703?)

〔読み〕致す所の由を(悟らざらしむ。)|或いは乃ち

所致之由或乃

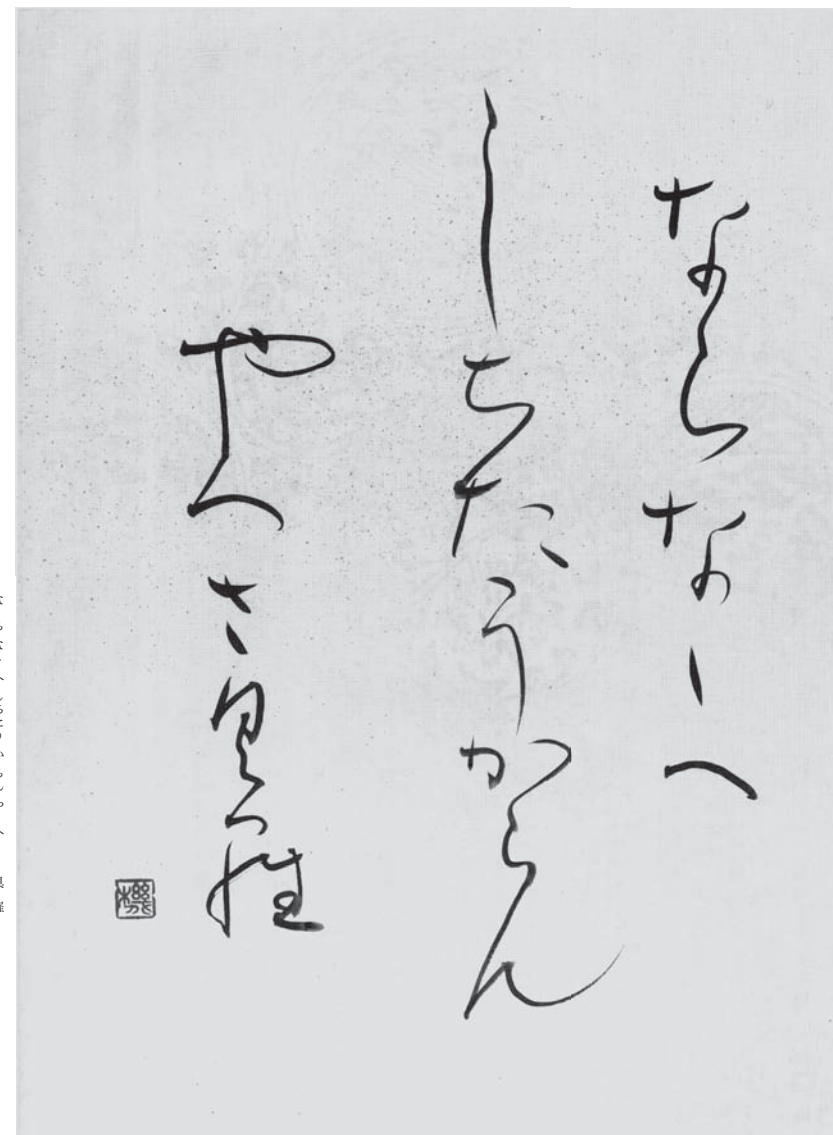


一般部毛筆かな課題

締切り 3月25日(必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書



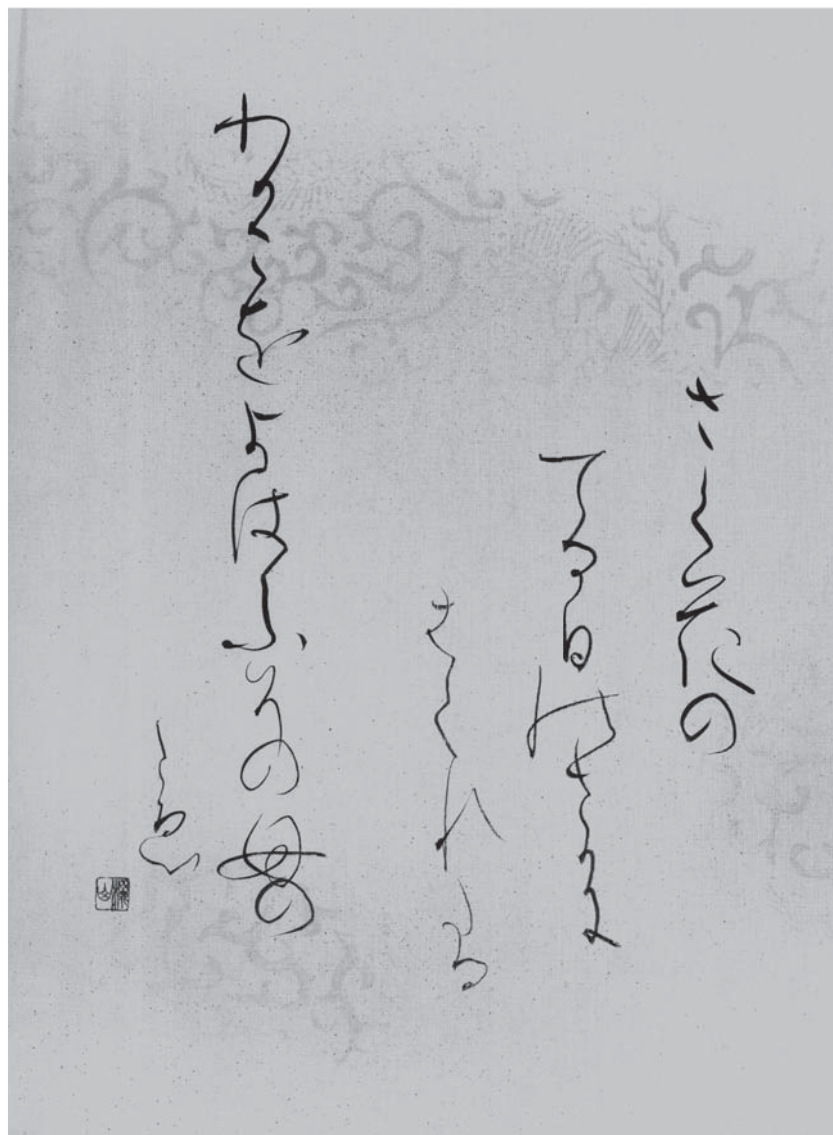
〔出典〕松尾芭蕉

〔句意〕「七重」は七代の都。八重桜に応じた。「古の奈良の都の八重桜 今日九重に匂ひぬるかな」の歌をふまえ、古都の華やかな春をうたった句。言葉の興による句。

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

奈良七重七堂伽藍八重ざくら



〔出典〕太田水穂

〔歌意〕吹きさかる梢の花が明るい陽光にかがやいている坂道で、人混みにはぐれたわが子の名前を呼びつづけている若い母親の声が聞えてくる。

咲く花の照る日の坂にはぐれたる
吾が子と呼ばふその母のこゑ

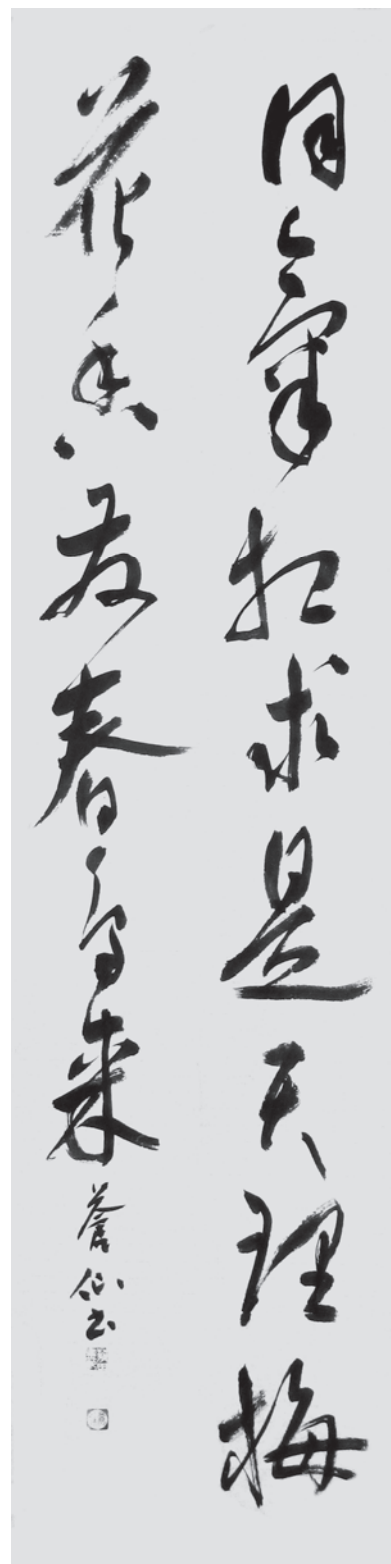
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 三月二十五日（必着）

半切（一二六cm×三五cm）

荻田蒼仙書



どうきあいもとむるはてんり
同気相求是天理
梅花香發春鳥来
〔大意〕同じ気を承けたもの同士が求め合うのは天の道理であるが、梅の花が咲き香りが発せられると、春の鳥たちが梅にやってくる。

初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

希望の高校に入れて良かったね

のびのびとした校風が評判のよう

です。照枝さんの優れた資質を

更に磨いて大きく成長して下さい

上村信夫

書 華 玲 田 樋

半紙（334mm×240mm）

〔条幅解説〕「十年学んだものを弟子は三年で会得する。だから師たる者は三倍励まねばいけない」。今は他界された師の言葉です。言葉は覚えておるのですが……。そのような厳しさのない自分を反省しております。

希望の高校に入れて良かったね
のびのびとした校風が評判のよう
です。照枝さんの優れた資質を
更に磨いて大きく成長して下さい

（ご自分の氏名）

・印で墨つぎしました。

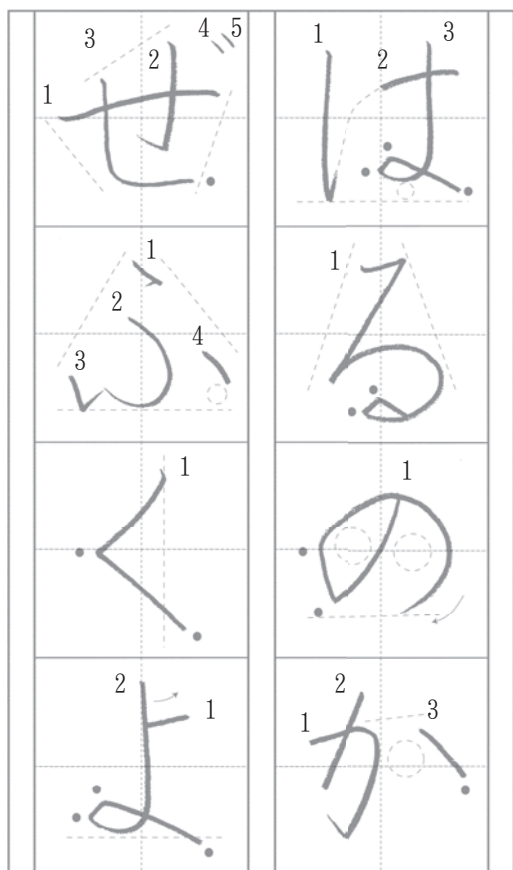
〔条幅・細字作品の出し方〕

■新人から師範まで、どなたでも出書できます。

■成績（天位～5等）は、評価により毎月かわります。

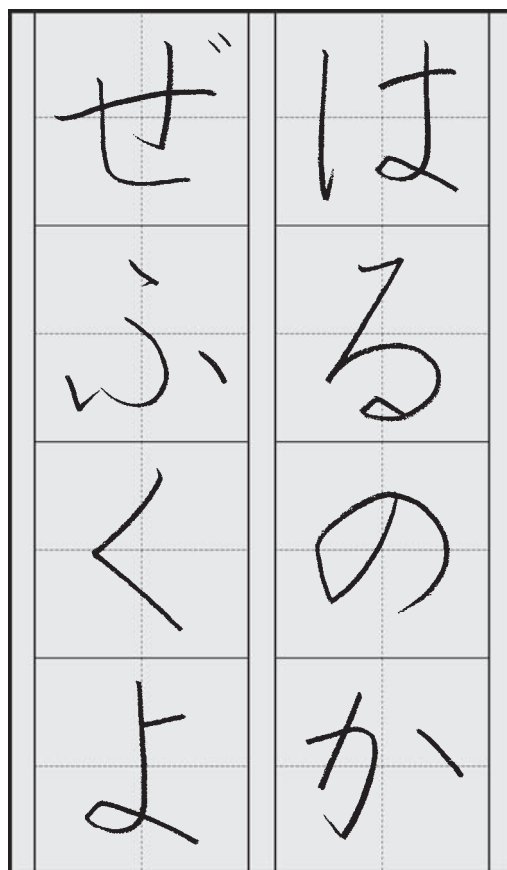
■書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



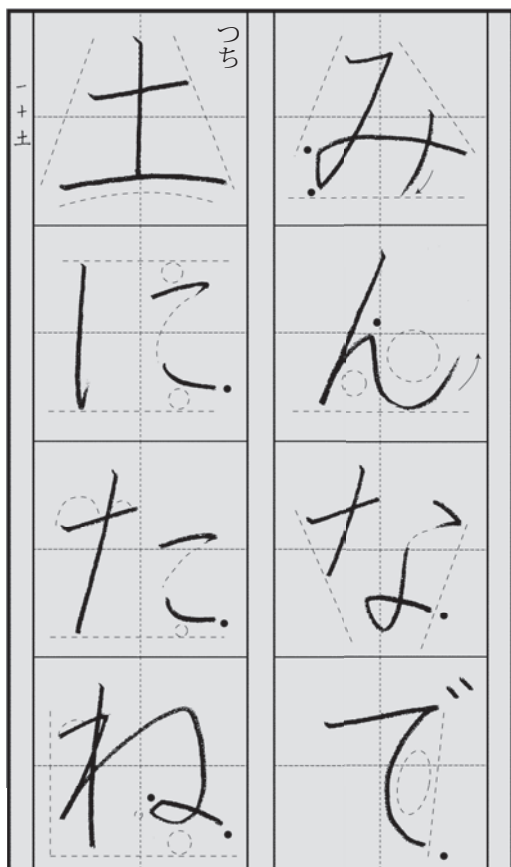
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



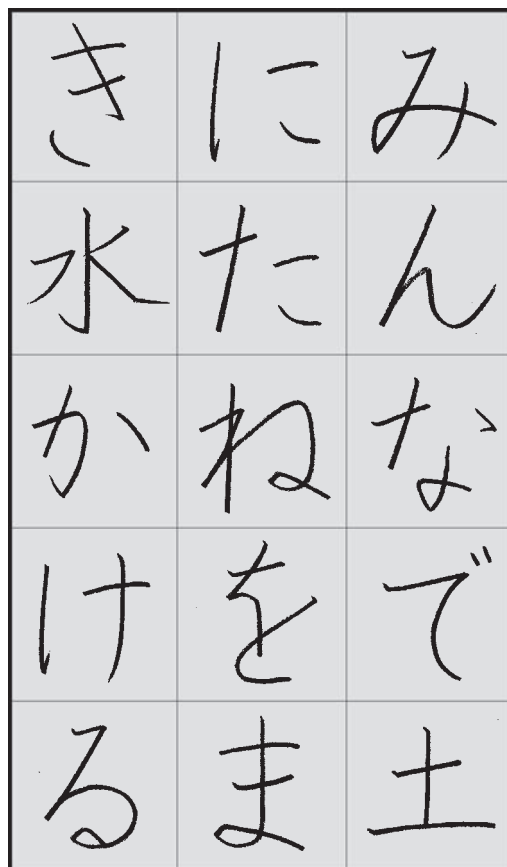
よ
う
年

小三年まで
三宅容玉書



新入1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

う	は
かい 会	っ
で 出	び
る	よ

新入〜1級

会	は	明
に	っ	日
出	び	は
る	よ	歌
よ	う	の

小二年

準初段以上

シャ 写	しま
シン 真	うま 馬
と	の
る	

新入〜1級

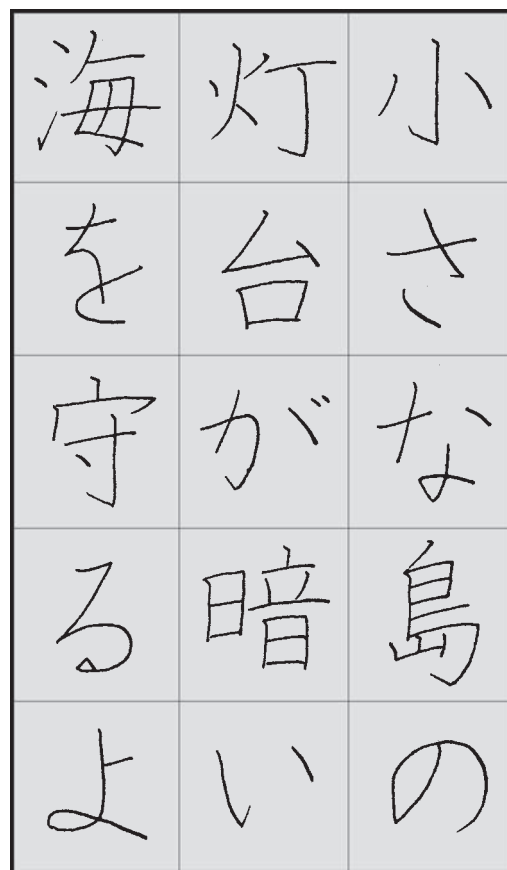
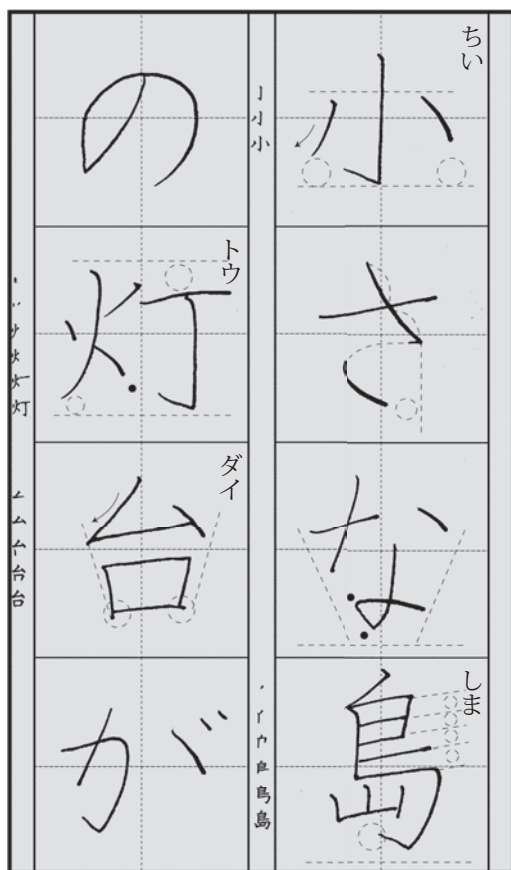
真	し	草
を	ま	を
と	馬	食
る	の	べ
よ	写	る

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

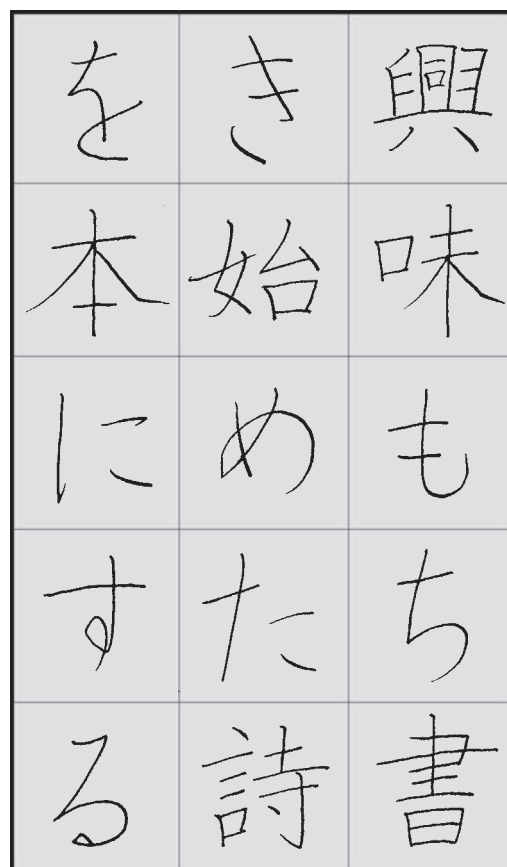
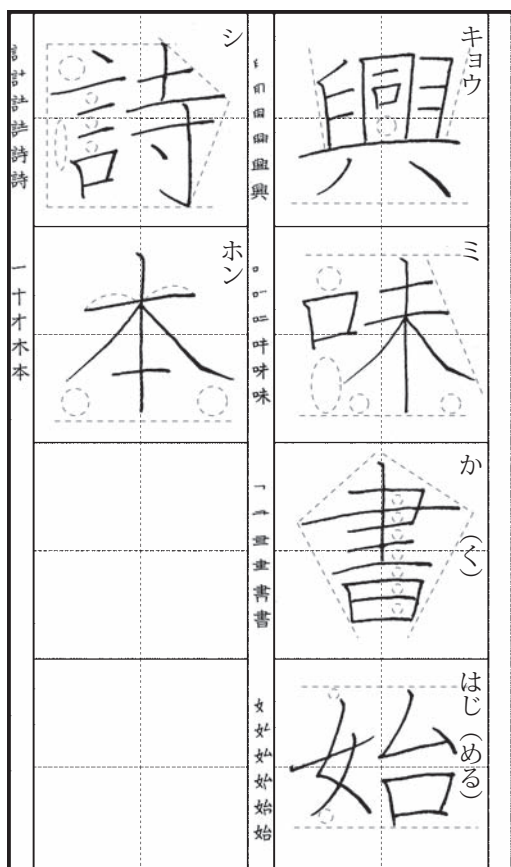
〈用具〉自由(黒色に限る)



小四年

準初段以上

新入1級



小五年

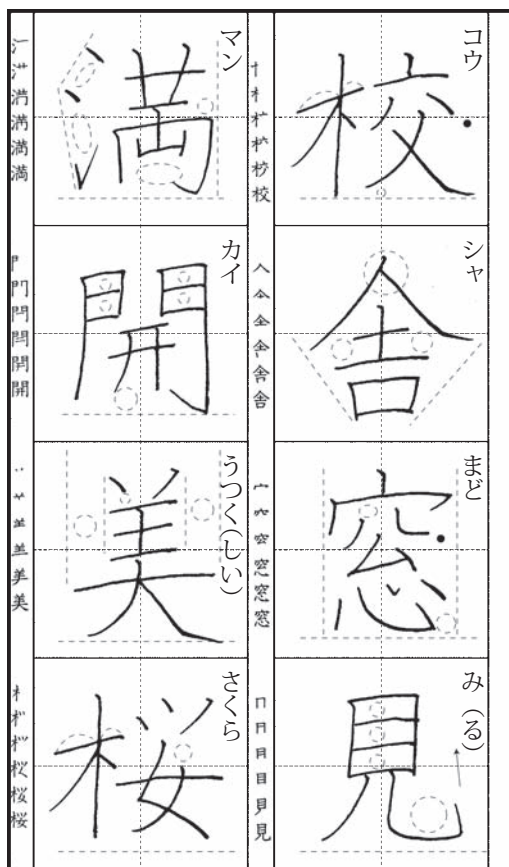
(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)

小四年以上 須田一葉書

〈用具〉自由(黒色に限る)

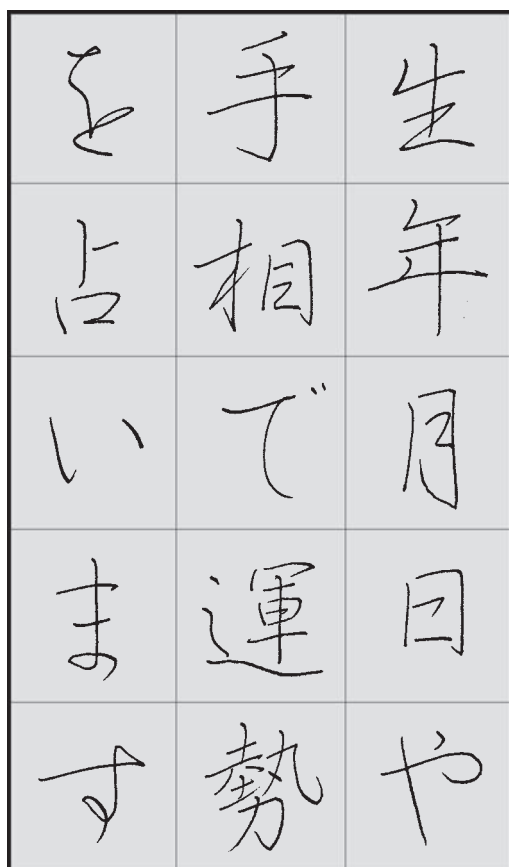


解説(よく見て習いましょう)



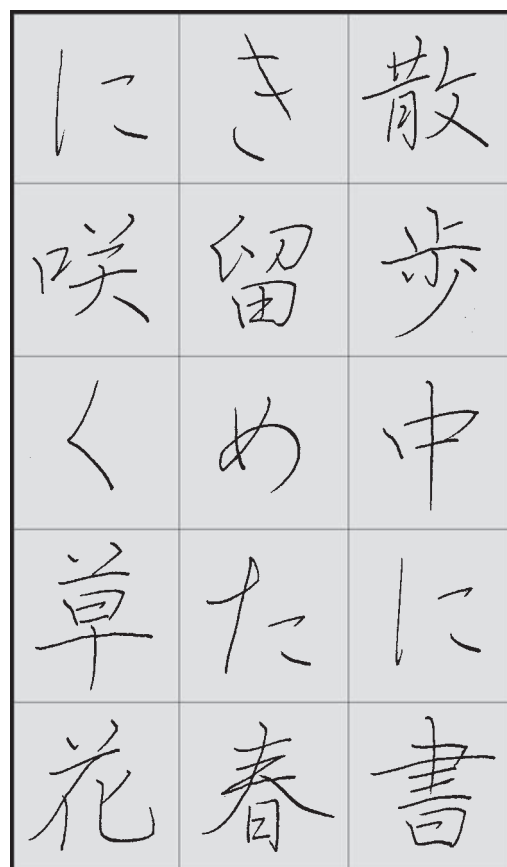
小六年

(全員)



中二・三年

(行書)



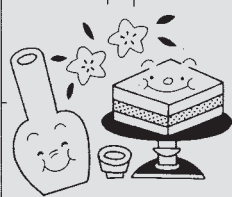
中一年

(行書)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

▼小三年以下の課題 しば 柴 た 田 とう 桃 か 花 書

楽 ^{たの}	用 ^{よう}	も	あ	ひ	
し	意 ^い	も	ま	な	
い	し	の	酒 ^{さけ}	あ	
ひ	て	花 ^{はな}	と	ら	
な		を		れ	
祭 ^{まつ}				や	
り					



◎お手本はえんぴつ使用

- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
 - 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
 - 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
 - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
 - 一、成績は評価により毎月変わります。
 - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



しめきり 3月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 まえ 前 そわ 岨 ぎょく 玉 か 華 書

半 ^{はん}	大 ^{おお}	熱 ^{あつ}	神 ^{こう}	ま	
分 ^{ぶん}	き	々 ^{あつ}	戸 ^べ	だ	
こ	な	の	の	風 ^{かぜ}	
し	豚 ^{ぶた}		中 ^{ちゅう}	が	
て	ま		華 ^か	冷 ^{つめ}	
食 ^た	ん		街 ^{がい}	た	
べ			で	い	
た					

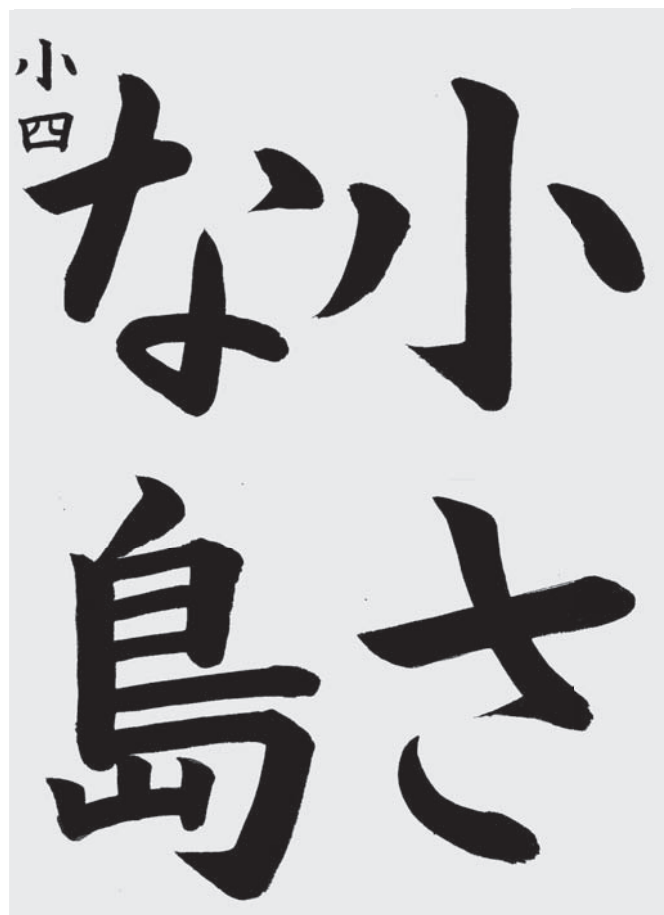
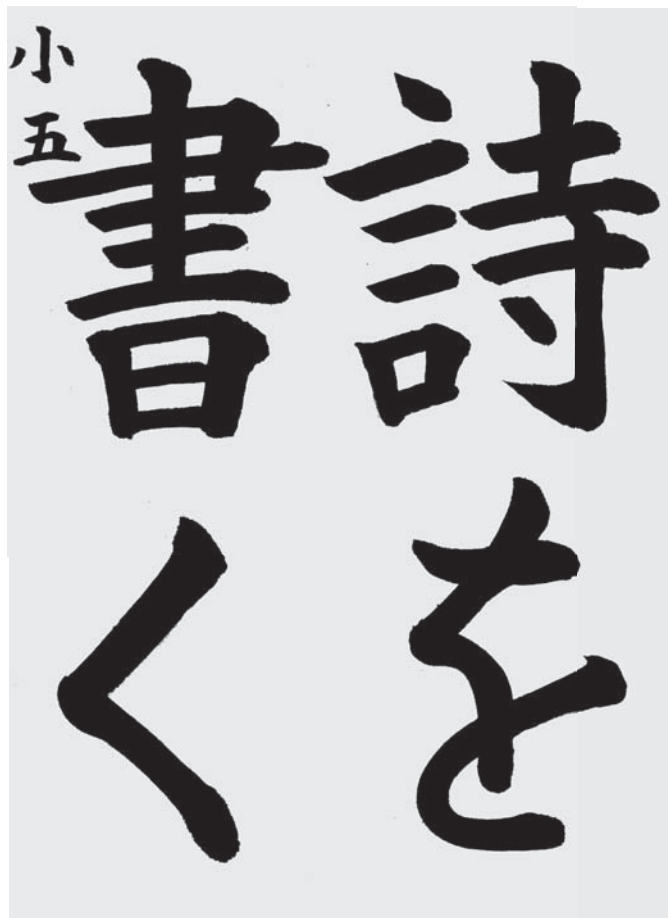


◎お手本はつけペン使用



幼年／小二年
玉樹小
華書





小三・小五年
水野香竹書

